

未来の京都ブランドを創り出す
新たな担い手を募集!

KYOTO Next Award 2025

募集開始!

京都の新しい魅力や価値を
創造・発信し、地域の活性化
やブランド構築につながる
取り組みを行う法人・団体・個
人等を表彰する「KYOTO
Next Award」。2023年に
実施した第1回では、最優秀
賞を株式会社RE-SOCIAL
が、優秀賞を一般社団法人
アーツシード京都がそれぞれ
受賞しました。

受賞後は広報支援や販路・
協業先とのマッチング等を
通して、ブランド力の強化を
応援しています。

第2回となる「KYOTO
Next Award 2025」の募集
を1月21日から開始します。
京都を愛する皆様からのご
応募をお待ちしています。



“地域の取り組みを京都のブランドに”

2023 最優秀賞 株式会社 RE-SOCIAL

受賞者概要

事業名 鹿肉専門やまとある工房
~無益な殺傷から有益な経済活動へ~

創業 2019年

住所 京都府相楽郡笠置町

業種 飲食店(鹿肉)、鹿肉(卸)(小)、
ペットフード事業

受賞後、外部専門家のアドバイザーやさまざまな支援により、ブランドینگや成長戦略、ECでの販売拡大についてフォローいただき、これまで自社だけでは手が届かなかったところに着手できました。今後は、この取り組みを拡大していくとともに、弊社のミッションである「獣害対策として捕らえられた鹿の100%有効活用」を全国に拡大することを目標にしながら、まずは京都で精進したいと思っています。



代表取締役
笠井 大輝 氏



試合会場での鹿肉ジャーキーの販売

応援コメント 02

京都ハンナリーズ
高橋 弦さん

京都ハンナリーズでは、府内各地で環境保全活動や社会課題解決のサポートに取り組む「NEKONOTE PROJECT」を進めています。その中でRE-SOCIALさんと出会い「ジビエの消費拡大による獣害被害の解決」という理念に共感するとともに、「鹿肉のおいしさ」をより多くの方に知っていただきたいと思い、試合会場で「燻製鹿肉ジャーキー」の販売を開始しました。ビールのおつまみとして多くのお客様にご利用いただいています。



相楽郡 鹿肉のローストブルーベリーソース

応援コメント 01

GOOD NATURE STATION
ERUTAN Restaurant/Bar

料理長
中林 身江さん

当店は京都の食材をメインに「京イタリアン」を提供しています。RE-SOCIALさんの新鮮で臭みがなく柔らかい鹿肉は、前菜・パスタ・メインディッシュ等、どの料理でも主役になります。初めて鹿肉を食べた方、鹿肉が苦手な方まで「本当においしかった」「一番おいしかったのは鹿の料理」と感想をいただきます。企業理念や彼らの人柄、熱意を料理人として心から尊敬しており、今後も鹿肉料理の提供を通してRE-SOCIALさんの素晴らしさを伝えていきたいです。



RE-SOCIAL創業5周年感謝祭(2024/11/27)

関係者を招き今後のビジョンを発表する記念イベントの企画やECサイトにおける販路拡大(RE-SOCIAL)、クラウドファンディングの制度設計と募集支援(アーツシード京都)等、外部専門家とともに、受賞者のブランド化に向けた戦略づくりをサポートしました。

ブランド化に向けた戦略づくり



第18回京商イブニングピッチ(2024/10/30)

メーカーや小売、卸売業者、金融機関、支援機関等、約150名のオーディエンスに対してプレゼンする「京商イブニングピッチ」への登壇や、小売事業者との商談会等を通じて、新たな販路・協業先開拓を支援しました。

販路・協業先のマッチング

受賞特典・サポート例

受賞とその後の支援を振り返って

“芸術とビジネスのコラボレーションを加速”

2023 優秀賞 一般社団法人アーツシード京都

受賞者概要

事業名 THEATRE E9 KYOTO 劇場
~100年続く小劇場を京都に~

創業 2017年

住所 京都市南区

業種 芸術の創造、普及、継承
及び育成、小劇場の運営

表彰式や京商イブニングピッチでの連携・協業先の開拓、劇場への寄付や支援を募るための外部専門家によるコンサルティング等、多くの支援をいただき、受賞前は想定していなかった企業経営者やビジネスパートナーの方々と交流することができました。今回のご縁を大切にしながら、これからも芸術とビジネスのコラボレーションを加速させ、京都から新たな価値を生み出していきたいと思



代表理事
あごう さとし 氏



5周年記念シンポジウムに登壇する京信・廣瀬理事(中央)

応援コメント 02

コミュニティ・バンク京信
榎田 隆之さん

アートがあるところに人は集まり、文化的な時間を共有することで、交流が始まる。コミュニティづくりにアートは大きな力を持っています。同社は「アーティストの減少」という社会課題を解決するために、創作発表の場や機会を提供する等の創造活動支援に力を入れておられ、そこから生まれた多様な芸術作品が文化・芸術の街である京都を支えています。今後ともアーツシード京都さんのさらなる発展を心よりお祈り申し上げます。



太秦江戸酒場のパフォーマンス

応援コメント 01

東映太秦映画村
洲崎 哲嘉さん

KYOTO Next Awardの表彰式で、ご縁をいただき、あごうさんに夜間特別イベント「太秦江戸酒場」の野外パフォーマンスの演出をお願いしました。俳優の力を引き出し、魂揺さぶる台詞回しや、家屋セットの2階を活かした多面的な空間構成等、重厚な演出に圧倒されました。海外では「オーセンティック」が注目ワードと聞きます。ジャンルや国境の壁を超えた京都の新しいブランドとしてのますますのご活躍を期待しています。



京都南部創造文化講演会(2024/1/24)

京都南部地域の企業・行政関係者等が参画する「京都南部創造文化講演会」で、アーツシード京都の取り組みをPR。また部会の集まり等でも登壇の機会を設ける等、さまざまな事業を活用し受賞者の事業をPRしました。

会員企業等に向けた事業PR



KYOTO Next Award 2023 表彰式(2023/10/16)

表彰式では、動画上映や受賞者と選考委員とのトークセッションを通じて、受賞者の事業内容を紹介し、その様子がマスコミ等で大きく報道されました。また京都市商工会議所会報やSNS等を通じて、継続的な広報支援を行いました。

広報支援

受賞者を総額400万円でサポート

KYOTO Next Award 2025

エントリー募集中!

4月11日(金)
まで

募集概要

■ 対象

法人、団体、個人およびその商品や技術、サービス等で、以下の各項目に該当するもの。

- (1) 京都の新たなブランド構築や課題解決のための取り組みを行っていること。
- (2) 活動拠点が京都府内にあり、今後も府内での活動を想定していること。

■ 審査基準

(1) 未来について

未来の京都を創る、もしくは未来の京都ブランドとなる可能性を有する取り組みであるか。

(2) 課題解決について

社会や業界の課題、身近な不便・不具合を解消・解決する決意と遂行力があるか。

(3) 京都について

京都(地域)に対する想い、または文化や歴史に対する理解や潜在的な可能性を有しているか。

■ 表彰

最優秀賞1件、優秀賞2件程度

※その他、特別賞を設けることがあります。

■ 受賞特典

- ブランド化サポート資金 総額400万円

① 奨励金 総額200万円

② 支援金 総額200万円

※京都府・京都市の予算編成の状況により変更する場合があります。

- 広報支援
- マッチング支援

■ 応募方法

公式ホームページにて「募集要項」を確認の上、申請用紙をダウンロードして、ご応募ください

(<https://kyoto-nextaward.kyo.or.jp/>)



■ スケジュール(予定)

【令和7年(2025)】

1月21日(火)	募集開始
4月11日(金)	応募締切
5月	一次審査(書面審査)
6月	公開調査(オンライン)
7月～8月	二次審査(プレゼン審査)
9月～	表彰式、受賞者支援開始

【令和8年(2026)】

3月～12月	ブランド化支援
--------	---------

■ 主催

京都ブランド推進連絡協議会 表彰委員会

委員長 堀場 厚 (京都商工会議所会頭)

委員 西脇 隆俊 (京都府知事)

委員 松井 孝治 (京都市長)

■ お問い合わせ

京都ブランド推進連絡協議会

〒600-8565 京都市下京区四条通室町東入
京都経済センター7階

京都商工会議所 産業振興部内

☎ 075-341-9773 ✉ shinkou@kyo.or.jp